

総合的リスク評価による 化学物質の安全管理・活用に対する 各省の取り組み

— 平成19年度対象施策 成果報告会 —

開催概要

日時

平成20年 **2/6** 水
10:00~17:00
(受付 9:30~)

場所

日本科学未来館
みらいCANホール

定員

約300名

参加費

無料

主催…………… 内閣府

共催…………… 文部科学省、厚生労働省
農林水産省、経済産業省
国土交通省、環境省

交通

日本科学未来館 みらいCANホール

(東京都江東区青海 2-41)

■ 新交通ゆりかもめ

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
または「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

■ 東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

■ バス

都バス: 「日本科学未来館」下車
京浜急行バス: 「テレコムセンター駅前」下車

■ 水上バス

「船の科学館」下船、徒歩7分

※詳細は次のサイトをご参照下さい。

http://www.miraikan.jst.go.jp/j/guide/map_index.html

参加申し込み方法

聴講を希望される場合は、下記のウェブサイトにてお申し込み下さい。

<http://www.renkei.jst.go.jp/sympo/chemical/index.html>

※参加者は、原則として事前に申し込みを受けた方のうち、先着順にて当方から「参加登録を受けた」旨のメールを返信した方とさせていただきます。
(参加申し込み締切: 平成20年2月3日)

■ 本件に関する問い合わせ先

内閣府総合科学技術会議事務局 参事官(環境・エネルギー担当) 付
大竹 憲邦、岡野 通明

電話: **03-5253-2111** (内線 44598)

■ 参加申し込み等の詳細の問い合わせ

独立行政法人科学技術振興機構 科学技術連携施策群支援業務室
化学物質安全管理・活用連携施策群担当 成果報告会係

電話: **03-3595-6201**



趣旨

第三期科学技術基本計画分野別推進戦略「環境分野」では5年間に重点的に取り組むべき6つの研究領域の一つとして、「化学物質リスク・安全管理研究領域」を選定しました。この領域の研究開発は「国民の安全・安心」の確保と「環境と調和する循環型の実現」という政策目標に合致するものであり、今後さらに重要になると考えられます。

総合科学技術会議では、化学物質リスク・安全管理に関する研究開発を進めている各省の連携を強め、化学物質の効用を十分に活用するリスク・安全管理を進めるべく我が国の研究開発ポテンシャルを高め、さらに持続可能な社会の実現に向けて国際的に貢献するよう、科学技術連携施策群「総合的リスク評価による化学物質の安全管理・活用のための研究開発」を設定し、本年度より活動を開始しました。

本科学技術連携施策群シンポジウムでは、各省で取り組んでいる研究課題を紹介し、各省で進めている研究開発の連携のあり方について議論を深めたいと考えております。

プログラム

開会の挨拶

総合科学技術会議 議員 薬師寺 泰蔵

10:00 ~ 10:10

1 「化学物質安全管理・活用連携施策群の役割について」

総合科学技術会議 化学物質安全管理・活用連携施策群コーディネータ・主監
国連大学副学長 安井 至

10:10 ~ 10:30

2 トピックス

「化学物質の最適管理を目指すリスク評価手法開発」

独立行政法人 産業技術総合研究所
化学物質リスク管理研究センター 副センター長 吉田 喜久雄

10:30 ~ 10:55

「化学物質による子どもへの健康影響に関する研究」

社団法人有隣厚生会 東部病院 病院長 牧野 恒久

10:55 ~ 11:20

「生態毒性簡易推計手法開発調査」

独立行政法人 国立環境研究所 環境リスク研究センター
センター長 白石 寛明

11:20 ~ 11:45

昼休み

11:45 ~ 13:00

「生態系に対する微量化学物質による水質リスク評価手法の開発」

独立行政法人 土木研究所 水環境グループ
上席研究員 鈴木 稔

13:00 ~ 13:25

13:25 ~ 13:50

「残留性有機化学物質の挙動に関するマルチメディアモデルの開発」

独立行政法人 農業環境技術研究所 大気環境研究領域
主任研究員 西森 基貴

13:50 ~ 14:15

「資源性・有害性をもつ物質の循環管理方策の立案と評価」

独立行政法人 国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター
物質管理研究室長 野馬 幸生

3 補完的課題成果報告

公募課題：

「化学物質情報プラットフォームの構築とその活用に関する調査研究」

採択課題：

「事業者の化学物質リスク自主管理の情報基盤」

研究代表者／横浜国立大学教授 三宅 淳巳

14:15 ~ 14:45

休憩

14:45 ~ 15:00

4 パネルディスカッション

司会／総合科学技術会議

化学物質安全管理・活用連携施策群コーディネータ・主監
安井 至

パネリスト／

厚生労働省 医薬食品局 審査管理課 化学物質安全対策室 室長 山本 順二
農林水産技術会議事務局 研究開発企画官 大谷 敏郎
経済産業省 製造産業局 化学物質管理課長 藤山 有邦
国土交通省 (調整中)
環境省 総合環境政策局 環境保健部環境安全課長 木村 博承
内閣府 総合科学技術会議 政策統括官付参事官 青木 康展

15:00 ~ 16:30

閉会の挨拶

内閣府 大臣官房 審議官 大江田 憲治

16:30 ~ 16:40

※本報告会は、総合科学技術会議のイニシアティブの下、平成19年度科学技術振興調査費によって実施されています。